

読むときのポイント

- ・だれが話したか、確かめながら読みましょう。
- ・「怖い物なんか一つもない」と言った男が話したことばに、_____を引きましょう。

まんじゅう、怖い

ある日、男たちが集まって、おしゃべりをしていた。何がいちばん怖いか、という話になった。ある者はヘビ、ある者は雷、ある者はお化け……。

すると、一人の男が「そんな物、怖がってどうするんだ。おれには怖い物なんか一つもないよ。」といばった。

「えっ、考えたら、一つぐらい怖い物があるだろう？」

「ないよ。」

「うそだ。一つはあるだろう。」

「あるけど、言うとお前たちが笑うから……」

「笑わないよ、絶対に。」

「じゃあ、言うよ。実は、まんじゅうが怖いんだ。」

「へえ、まんじゅうって、あの甘くて丸いまんじゅうかい？」

「そうだよ。ああ、思い出だけで、怖い。」

「本当かい？ まんじゅうが怖いなんて、信じられないな。」

「いや、本当だよ。怖いよ。怖くて、体が震えてくる……」

そこで、みんなはおもしろがって、男を怖がらせるために、まんじゅうをたくさん買って来た。

すると、男はまんじゅうを見て、震え出した。

「ああ、怖い、怖い。助けてくれ！」

そう言いながら、男は次々にまんじゅうを食べた。

「どうして、食べるんだ。まんじゅうが怖いなら、食べられないはずだろう。」

「いや。怖い。怖いから、早く目の前から消さなくちゃ……」

そして、まんじゅうを全部食べてしまうと、ポツリと言った。

「次は、濃いお茶が怖い……」

